予算決算委員会の審査概要

全議員で構成する当委員会で、平成31年度当初予算及び関連議案について審査を行いました。

総括質疑（平成31年２月26日）

自　民　党

質疑1　新市基本計画（※4）の期間延長とその内容等について

計画期間延長の理由と残事業の数量及び事業費は。また、延長された事業における課題や問題点はないのか。もし課題がある場合、どのように対応していくのか。

質疑2　保育士確保と待機児童解消への予算措置と取り組みについて

保育士確保と待機児童解消のため予算計上されている事業の内容は。また、保育需要の地域的な偏りと、幼児教育無償化による影響及び小規模保育からの３歳児の移行問題をどのように考えているのか。

質疑3　校区社会福祉協議会支援経費について

校区社会福祉協議会に対する助成が計上されているが、その内容は。

質疑4　有害鳥獣駆除経費と事業について

急増しているイノシシや鹿等の駆除にかかる経費の計上と、取り組み状況はどうなっているのか。

質疑5　植木温泉交流会館「風の湯」の閉鎖について

植木温泉福祉交流会館「風の湯」の実像は、高齢者が時間を気にせずゆっくりと過ごせる憩いの場であり、生き甲斐創出の場であるにも関わらず、市は廃止の方向性を明確にしている。

アンケートの実施にも課題提起される中で、利用者からは設置趣旨が類似している老朽化著しい老人福祉センターと比較し、「行財政改革の視点として、公平さ公正さが損なわれている。」との指摘がなされているので、正当な理由をもって理解を求めない限り、今回の廃止条例と共に予算の打ち切りは市民感情として容易には認められない。

質疑6　将来を見通した財政運営について

本市の市債残高は4,720億円と過去最高となり、次世代へのつけ回しになりかねないのではと危惧することから、高齢者数がピークとなる2040年を見据えた長期の財政計画に着手すべき時期であることを指摘する。

質疑7　本庁舎のあり方調査検討経費について

本庁舎のあり方調査検討経費については、慌てず、急がず、市民の意見、議会の意向をじっくり聞いて、十分な議論を深めながら進めてもらいたい。

質疑8　児童育成クラブについて

児童育成クラブについては、県同様に、時間延長と６年生まで利用できるよう、様々な課題を改善し、実現に向けて努力してもらいたい。

公　明　党

質疑1　恒久住宅への移行に向けた支援について

恒久的な住まいの確保が最優先だが、その後の安定した日常生活ができるかが重要になってくる。住まい再建後のケア事業をした上で、しっかりと分析を加え、必要であればさらなる施策を行う等、被災者一人ひとりの状況に応じたケアをしてもらいたい。

質疑2　私立幼稚園等特別支援教育助成について

発達障がい等、特別支援教室の充実についてＰＴＡを含め意識が高くなってきている。

これまでも支援の充実を求めてきたが、ようやく第一歩が始まる。事業の効果等を検証しながら、十分に意見交換し、未来の子どもたちのための対策を行うよう求めておく。

共　産　党

質疑1　歴代市長の時代と比べても突出した大型ハコモノ整備推進や上下水道料金への消費税10％増税分の転嫁は許されない！

10億円超の大型投資事業は、三角市長（８年間）で490億円、幸山市長（12年間）で670億円、大西市長の今後11年間では1,166億円と突出。

黒字の上下水道事業で消費税増税分を料金に転嫁すべきでない。

質疑2　積み残しが増える市営住宅の計画修繕及び維持管理予算を拡充すべき

健康で文化的な生活を保障するためにも、住環境の改善に資する住宅予算の抜本的拡充を。

市政クラブ

質疑1　小･中学校のトイレ洋式化をモット進めて欲しい！

家庭が洋式トイレなので、学校のトイレも洋式化を進めるべきでは。

質疑2　道路案内標識の間違えを再点検して欲しい！

坪井橋付近に設置の『漱石記念館』の３枚の誤標識の修正を。

主な議決結果〔会派別〕

議案番号・件名 ＼ 会派名	自民党	市民連合	公明党	くまもと未来	共産党	市政クラブ	日本教育	自由クラブ	善進会	明政会	地域創世	和の会	議決結果
議第１号　平成31年度熊本市一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	可決
議第20号　平成30年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第52号　熊本市自治基本条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

おしえて ひごまる

自主防災クラブ（※３）…大規模災害が発生した場合における消火、通報、避難、救出援護等、初期の活動を隣近所や町内の人たちが協力し助け合いながら、消防隊等が現場に到着するまでの間、地域の被害を最小限にとどめるため活動する組織。

新市基本計画（※４）…旧富合町、旧城南町及び旧植木町との合併による新市の円滑な運営の確保と均衡ある発展を図るため、新市の将来ビジョンや施策、主要事業等を盛り込んだ計画。